

●技術情報

Q&A

[6] 作物別施用法（野菜類）

Q6-4-8 トマトに対する石灰窒素の施用方法を教えてください。

A6-4-8 トマトに石灰窒素を施用して効果を上げる方法は3種類あります。

①土中堆肥（土づくり）

秋に稲わら2～2.5t/10aを約10cmに裁断して畑全体に散布し、石灰窒素を80～100kg/10a、ようりん60kg/10aを散布し、ディスクプラウで30cmの深さにすき込む。これにより翌春には完全に堆肥化されます。

②石灰窒素の全面施用

植え付けの7～14日前に石灰窒素を100kg/10a施用することにより石灰窒素の緩効性効果、さらには石灰効果により増収効果とカルシウム欠乏症である尻腐病を軽減します。

③太陽熱・石灰窒素法

太陽熱・石灰窒素法によりトマトの各種土壌病害が軽減されます。

表 6-4-4 トマトに対する太陽熱・石灰窒素法の病害防除効果（栃木県農業試験場）

試験区	施 用 量 (kg/10a)				程 度 別 株 数			発病度	収 量 比
	石灰窒素	ソルゴー	デントコーン	稲わら	+++	++	+		
1	100	18,200			0	4	16	28	119
2	100		13,500		0	1	19	22	109
3	100			1,000	0	2	18	22	106
無処理					20	0	0	100	100

備考) 施設栽培、播種 9月中旬、定植 11月中旬、収穫 2月下旬～6月中旬